

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 9 月 7 日 (2017.9.7)

【公表番号】特表 2016-528231 (P2016-528231A)

【公表日】平成 28 年 9 月 15 日 (2016.9.15)

【年通号数】公開・登録公報 2016-055

【出願番号】特願 2016-531836 (P2016-531836)

【国際特許分類】

C 07K 14/475 (2006.01)

C 07K 14/47 (2006.01)

A 61K 38/00 (2006.01)

A 61P 43/00 (2006.01)

A 61P 3/00 (2006.01)

A 61P 3/10 (2006.01)

A 61P 3/04 (2006.01)

C 12N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 07K 14/475

C 07K 14/47 Z N A

A 61K 37/02

A 61P 43/00 1 1 1

A 61P 3/00

A 61P 3/10

A 61P 3/04

C 12N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 7 月 28 日 (2017.7.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 I の構造を有しているカルシトニン遺伝子関連ペプチド (CGRP) アゴニスト、あるいはその薬学的に許容され得る塩：



(I)

式中：

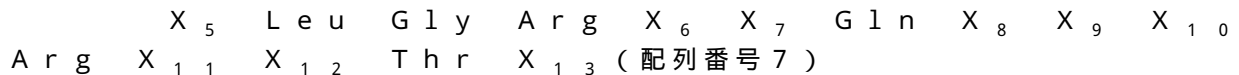
X^1 は、以下の一般式を有している、6 又は 7 個のアミノ酸残基を含有している N 末端断片であり：



式中、 X_1 は、Ala もしくは Cys であるか、または存在せず、 X_2 は、Cys、Ser または Gly であり、しかしただし、 X_1 と X_2 の少なくとも 1 つが Cys であり、 X_1 または X_2 の 1 つだけが Cys であり、 X_3 は、Asp または Asn であり、そして X_4 は、Ala または Ser であり、式中、 X^1 の末端 Cys は、 X_1 または X_2 中の Cys 残基とジスルフィド架橋を形成することができ；

Y^1 は、15 個のアミノ酸残基を含有している中心のコアであり、ここでは、前記中心

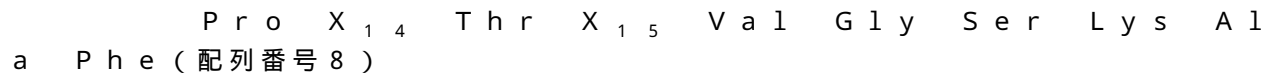
のコアは以下の一般式を有しており：



式中、 X_5 は、Val または Met であり、 X_6 は、Leu または Tyr であり、 X_7 は、Ser または Thr であり、 X_8 は、Asp または Glu であり、 X_9 は、Phe または Leu であり、 X_{10} は、His または Asn であり、 X_{11} は、Phe または Leu であり、 X_{12} は、His または Gln であり、 X_{13} は、Phe または Tyr であり；

そして

Z^1 は、10 個のアミノ酸残基を含有している C 末端断片であり、前記 C 末端断片は C 末端アミドを含有しており、前記断片は以下の一般式を有している：



式中、 X_{14} は、Arg または Gln であり、 X_{15} は、Asn または Ala である。

【請求項 2】

X_1 が Cys であり、そして X_2 が、Ser または Gly である、請求項 1 に記載のカルシトニン遺伝子関連ペプチド (CGRP) アゴニスト。

【請求項 3】

X_2 が Cys であり、そして X_1 が Ala である、請求項 1 に記載のカルシトニン遺伝子関連ペプチド (CGRP) アゴニスト。

【請求項 4】

X^1 が配列番号 9 を含む、請求項 1 に記載のカルシトニン遺伝子関連ペプチド (CGRP) アゴニスト。

【請求項 5】

Z^1 が配列番号 10 を含む、請求項 1 に記載のカルシトニン遺伝子関連ペプチド (CGRP) アゴニスト。

【請求項 6】

配列番号 1、配列番号 2、配列番号 3、配列番号 4、配列番号 5、およびそれらの薬学的に許容され得る塩からなる群より選択される、カルシトニン遺伝子関連ペプチド (CGRP) アゴニスト。

【請求項 7】

前記アミド基が $-C(O)NH_2$ である、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項 に記載のカルシトニン遺伝子関連ペプチド (CGRP) アゴニスト。

【請求項 8】

以下を含有している薬学的組成物：

薬学的に許容され得る賦形剤；および

請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項 に記載のカルシトニン遺伝子関連ペプチド (CGRP) アゴニスト。

【請求項 9】

代謝障害を処置するための、有効量の請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項 に記載のカルシトニン遺伝子関連ペプチド (CGRP) アゴニスト。

【請求項 10】

前記代謝障害が糖尿病および肥満を含む群より選択される、請求項 9 に記載のカルシトニン遺伝子関連ペプチド (CGRP) アゴニスト。

【請求項 11】

以下を含有している薬学的組成物：

薬学的に許容され得る賦形剤；および

請求項 6 に記載のカルシトニン遺伝子関連ペプチド (CGRP) アゴニスト。

【請求項 12】

代謝障害を処置するための、有効量の請求項 6 に記載のカルシトニン遺伝子関連ペプチ

ド（ＣＧＲＰ）アゴニスト。